

Mate 2012 第18回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」 シンポジウム ―環境エコ社会を支えるエレクトロニクス技術― 参加者募集

主 催：(社) 溶接学会 マイクロ接合研究委員会
共 催：(社)エレクトロニクス実装学会, (社)高温学会 微細加工研究情報委員会, (一社)日本機械学会 高密度エレクトロニクス実装における接合信頼性設計と熱制御に関する研究分科会, (社)日本塑性加工学会 接合・複合分科会, (社)日本電気制御機器工業会, エレクトロニクス生産科学学会準備会, レーザ加工学会

開催趣旨

日本のエレクトロニクス産業は、この 20 年間、高機能化、高信頼化、小型化、低コスト化の技術開発に支えられた新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム創成の下、日本の高度成長を牽引してきました。今後も日本が世界を先導し続けるには、生産技術を科学的に探求することはもちろんのこと、既存の学問領域、設計・生産技術などの領域を越えて、エレクトロニクスを取巻く科学技術、経営・生産システム、価値システム、などの広い範囲を取り込んだグローバルな最適化とそれに基づくシステムインテグレーションが不可欠になってきています。本シンポジウムでは、これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち、生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます。

日 時：平成 24 年 1 月 31 日 (火) 8:50 ～ 17:30
平成 24 年 2 月 1 日 (水) 9:00 ～ 17:50

会 場：パシフィコ横浜 会議センター
横浜市西区みなとみらい 1-1-1

シンポジウム参加登録費 (論文集代を含む)

○主催・共催団体加入会社	： 20,000 円
○協賛学協会会員会社	： 30,000 円
○論文口頭発表者	： 15,000 円
○大学・国公立研究機関	： 15,000 円
○学生	： 5,000 円
○シニア (65 歳以上)	： 10,000 円
○その他 (一般)	： 40,000 円

シンポジウム参加申込方法

下記シンポジウム URL より平成 24 年 1 月 20 日(金)までに参加登録を行ってください。

<http://www.toptour.co.jp/conv/3903/mate2012/>

問合せ、申込先
トップツアー株式会社 東京法人東事業部 内
Mate 2012 事務局
Mate 2012 担当 福田, 滝田
TEL: 03-3516-2669
E-mail: mate2012@toptour.co.jp

参加申込締切日：平成 24 年 1 月 20 日 (金)

シンポジウム URL

<http://www.toptour.co.jp/conv/3903/mate2012/>

プログラム (セッション名と発表件数)

●プレナリーセッション

1. スマートシティを支えるエネルギー管理システムの動向
(株)日立製作所 河野 克己
2. 普及が進む太陽電池の研究開発動向と将来展望
(富士電機株) 吉田 隆
3. エレクトレット材料を用いた小型環境振動発電デバイスの開発
(オムロン株) 正木 達章

●企画講演	8 件
●ポスターセッション	20 件
●論文発表	79 件